

平成23年度
実施事業

事務事業名 酪農ヘルパー事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援
事務事業番号	008	事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	酪農ヘルパーの普及に取り組む団体の活動を支援することにより、酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	酪農ヘルパー利用組合に補助金を交付し組合の運営が円滑に遂行されるよう支援し、酪農・肉用牛生産近代化計画や農業マスタープランに沿った形で事業を進めている。 酪農ヘルパー事業の制度定着（休暇の定期的取得）を図る。 酪農ヘルパー要員の確保と教育研修を行う。 【平成23年度事業実績】 利用回数：115回 利用率：市内酪農家11戸中9戸 酪農ヘルパー制度とは：酪農は、乳牛を相手にするため365日休むことなく労働する必要があり、酪農家が病気やどうしても農作業を行うことが出来ない日にヘルパーが代わって作業を行うものです。なお、事業補助を行っている酪農ヘルパー事業は伊達市農業協同組合が事務局となって、伊達市、室蘭市、登別市が事業補助を行い、事業が行われております。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	酪農ヘルパーの利用を促進することで、定期的休暇の取得を図り、近代的酪農経営の進展を目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	720	720	539	539	539
事業費 合計			720	720	539	539	539

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	ヘルパー利用回数	回	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	100	115			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
酪農経営は、家族経営が主体で、家族の病気や怪我により農業規模の縮小や離農の可能性があった。	酪農ヘルパーの利用により、酪農家の離農の回避や定期的な休暇を取得することにより、生活環境の改善と農業後継者育成が図られている。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 酪農経営の安定的な発展と生活環境の改善向上を目指すために市が行うことが妥当と考える。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 搾乳作業等周年拘束性が強い酪農経営における労働負担の軽減及び休日の確保を図り、ゆとりある酪農経営を実現するためには、搾乳作業等を請け負う酪農ヘルパーの普及・定着を推進する必要がある。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 毎年、ヘルパーの利用回数が異なることから、適宜、補助金額の見直しを行い効率性を高める。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 酪農ヘルパーの利用により、病気や怪我による急な休暇所得にも対応でき、廃業する酪農家は無く、ヘルパー事業の意義は大きい。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	酪農ヘルパーの利用により酪農家の事故などによる廃業の回避や定期的な休暇を取得することにより、生活環境の改善と農業後継者育成が図られている。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----